



松江



松江



JR 豊前松江駅



四郎丸



四郎丸



四郎丸



四郎丸



八屋



八屋



八屋



宇島



宇島



宇島



沓川



沓川



沓川



三毛門

(12) 港

中津街道を通る宇島には、江戸時代後期に小倉藩により宇島港が築港されました。当初の築港目的は中津藩との間で帰属を巡った山国川河口の小祝地区（現在は中津市内）の漁村の移転のためで、八屋浦と沓川浦の間に計画し、文政 3 年（1820）に幕府へ申出ました。翌年から工事が始まり、文政 8 年（1825）に完成しています。築港後は廻船業を営む者が増え、宇島の経済発展のきっかけとなりました。明治後期には石炭の積み出しも行っていました。

明治維新後も港として栄え、大阪・宇島間の航路が開かれ貨客船が運行されました。

福沢諭吉も宇島からの航路を利用していました。宇島の船宿に泊まった夜は、諭吉を暗殺する計画がありましたが、無事に神戸へ旅立っています。

絵図に描かれた宇島港周辺は現在埋め立てられています。船溜まりを取り囲む道路の形態や、船宿を思わせる建物など、当時の面影を残しています。



宇島築港絵図 文政 13 年（1830）